

ノリ養殖環境速報 KH-29-3 (播磨灘)

平成 29 年 11 月 22 日 発行

※平成 29 年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

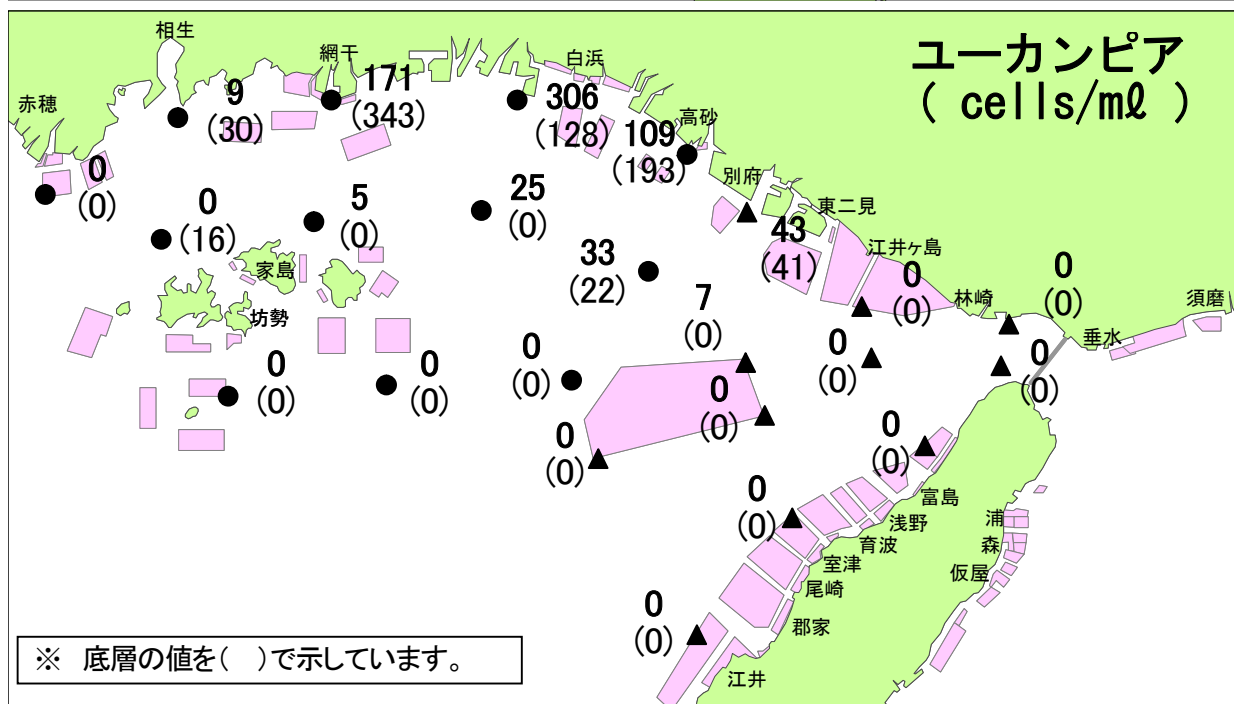
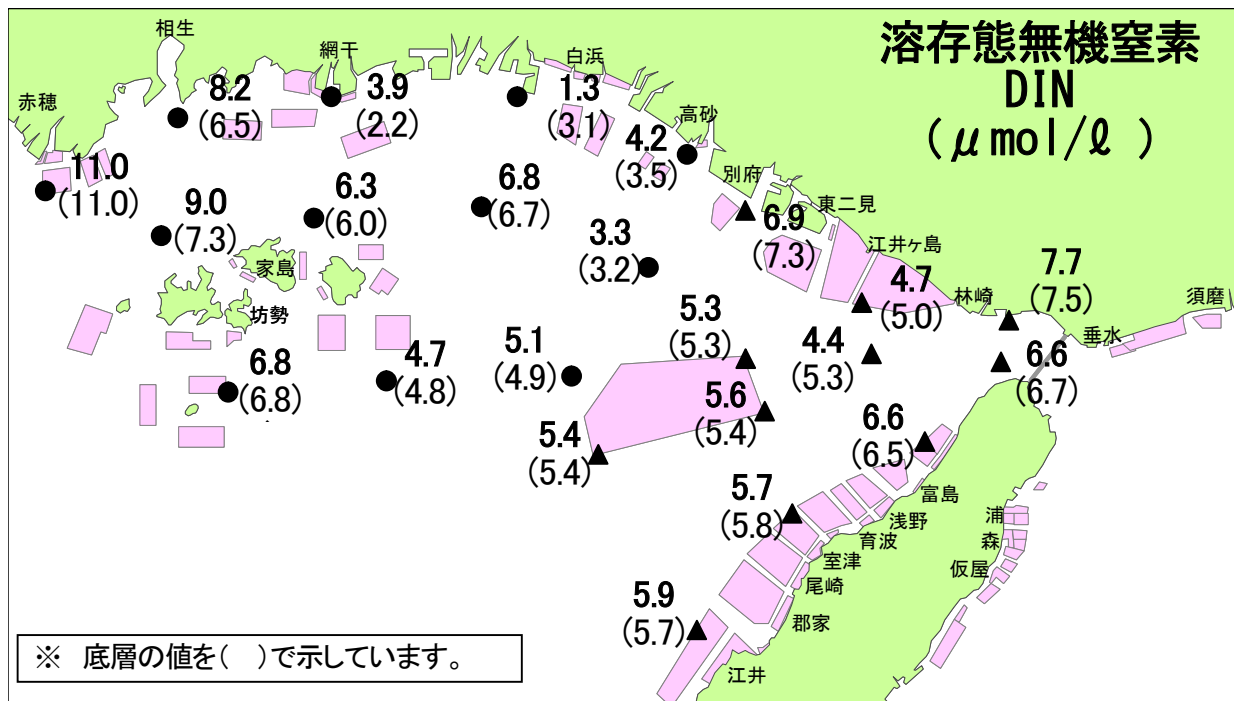
調査年月日：11 月 21 日

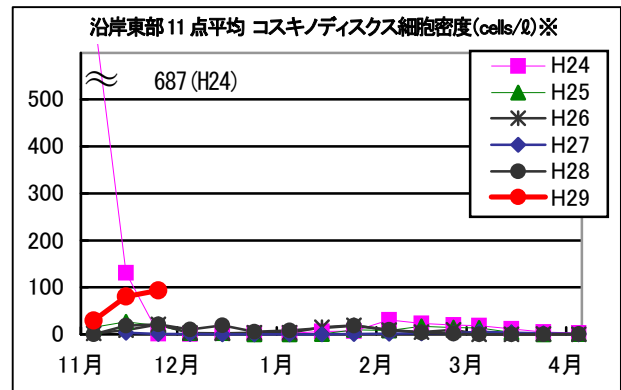
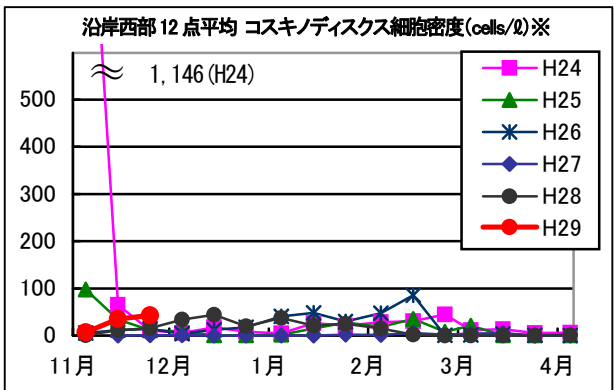
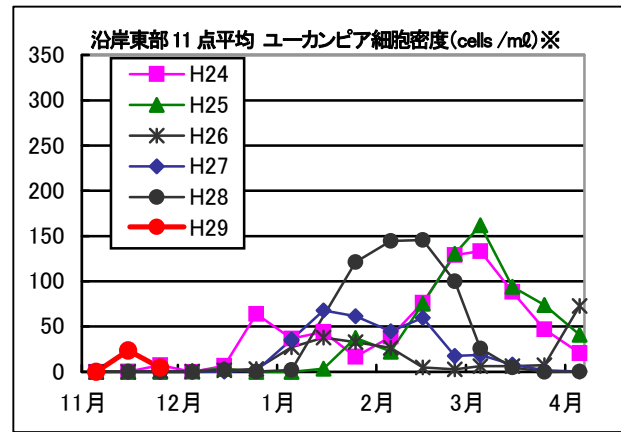
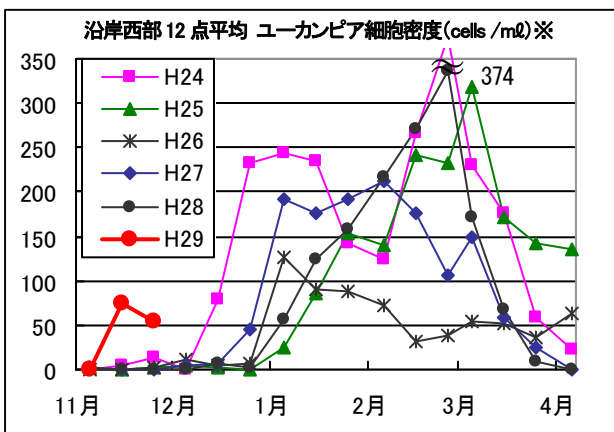
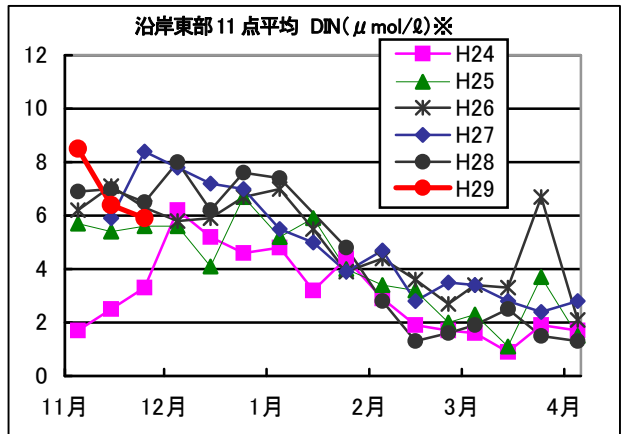
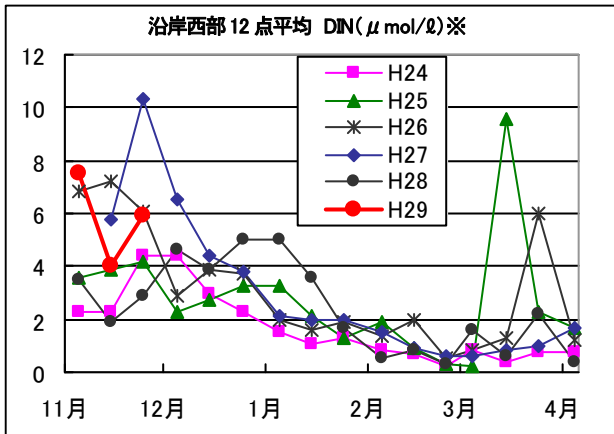
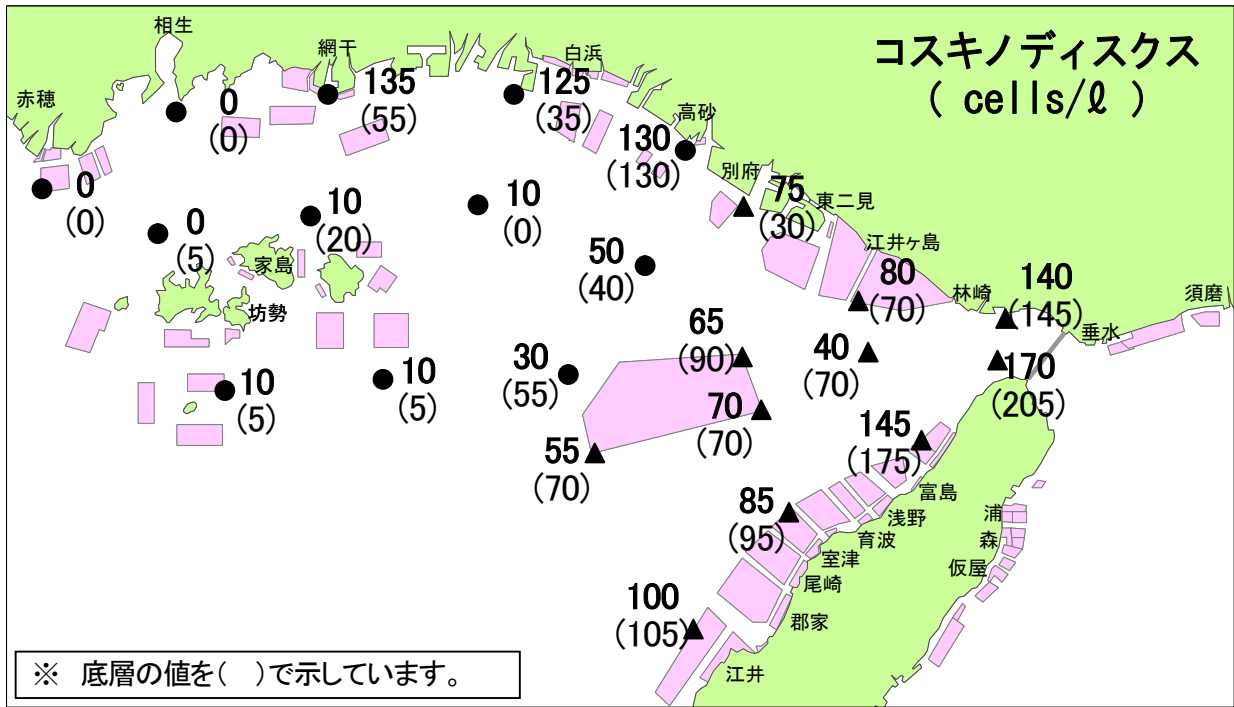
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、沖合域や東部海域で概ね $5\mu\text{mol/L}$ 以上、北部沿岸域の一部(高砂~姫路地先)で $1.3\sim 4.2\mu\text{mol/L}$ 程度となっています。

大型珪藻のユーカンピアは、北部沿岸域(高砂~姫路地先)で多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは明石海峡から東部海域を中心に確認されています。

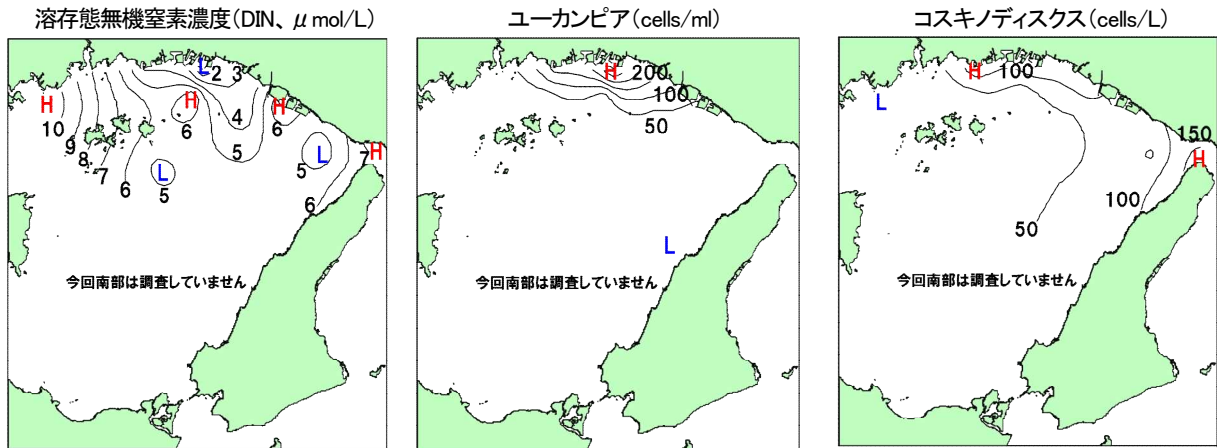
水温は、白浜以西では $15.6\sim 16.5^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では $17.4\sim 18.3^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $16.7\sim 17.4^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $18.1\sim 19.0^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $17.9\sim 18.0^\circ\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成29年11月21日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸域（高砂～姫路地先）では、多様な珪藻類が多く発生しています。ユーカンピアゾディアクスは、前回の調査時より若干減少していますが、北部沿岸地先（高砂～姫路）では多く確認されています。コスキノディスクスワイレシーは、北部沿岸～北東部海域で確認されていますが、栄養塩濃度の動向に影響を与える数ではありません。

珪藻類が多く発生している影響により、北部沿岸（高砂～姫路）では表層のDIN濃度が低めで、 $2\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。その他の海域のDIN濃度は、概ね $5\mu\text{mol/L}$ 以上を維持していますが、今後の珪藻類（特にユーカンピア）及び栄養塩濃度の動向にはご注意ください。

大阪管区气象台の週間天気予報では、降水量は平年並か平年より多いとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、珪藻類の発生状況にもよりますが、現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁 11月21日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(11/22～11/28)の近畿地方は、北部では低気圧や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨または雪の降る日があるでしょう。中部と南部では、数日の周期で天気が変わり、期間のはじめは低気圧や前線の影響で雨の降る日がある見込みです。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より低く、かなり低い日があるでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(11/21)では、日生沿岸でDIN(表層)が $11.5\sim 14.1\mu\text{M}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成29年12月1日頃に発行予定です。

*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>